

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人千葉学園千葉幼稚園園長 岡本潤子

学校法人千葉学園千葉幼稚園学校関係者評価委員会

1. 教育目標 大人も子どもも共に『よくみる よくきく よくする』

八戸に生まれ日本人女性初の新聞記者であり、教育者羽仁もと子の言葉を教育課程に織り込みながら、のびのびとした明るい環境の中で人とのふれあいを大切に、毎日の生活を丁寧に『よくみる よくきく よくする』人に、大人も子どもも共に学び合いながら。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1) 新しい時代の保育を拓く

①科学する心 ～実践2年目の取組～ ②コロナ禍で見えてきた保育内容の精選 ③社会に目を向けた教育実践～SDGsの実践～

2) 保育におけるリーダーシップ～教員もアクティブラーニング～

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価			学校関係者評価	
	評価	取組状況	取組による成果	評価	意見
新しい時代の保育を拓く ①科学する心 実践2年目の取組 ②コロナ禍で見えてきた 保育内容の精選 ③社会に目を 向けた教育実践 SDGsの実践	B	①子どもたちの目に見えるよう、科学に関する環境設定を積極的にを行い、教材研究も意識できたが、教員の設定が中心になりがちで、子どもの自発的活動から発展していくことが少なかった。 ②コロナ禍により本来経験すべき活動が失われないよう、日々の保育に工夫して活動を取り入れることを心がけることができた。 ③どの学年でもわかるよう、廊下にSDGsのマークや写真を掲示したり、不要になった物を遊びや保育の中で活用することができた。	①不思議だなと思うことを、自分たちの身近にある本等で調べたり、実際に体験をすることで、より新しい気づきが生まれ話題にしたり、「次はこうしてみよう」という気持ちが表れるようになった。 ②子どもたち自身も、相手との距離をとる、手洗いうがい・消毒を自ら進んで忘れずできるようになる。 ③身近な空き容器や紙を積極的に利用して、工夫して遊びに取り入れる姿がどの学年も多く見られ、保育者もSDGsを意識している。	A	・科学する心の実践を通して、子どもたちの自発的活動に取り組めたことは素晴らしい成果。 ・科学する心の育成は、幼児教育として高度かと思っていたが、保護者アンケートの結果や感想から、よく理解されていると共に、成果が上がっていることが感じられた。子どもたちに好奇心の芽が育っている。 ・コロナ禍の中、子どもたちの経験と学びのために様々な工夫した様子が見られた。 ・SDGsに関して、画一的な視点ではなく、多様な視点を持つことが大事。 ・SDGsへの意識を、幼い頃から育てていくことは大切であると感じた。 ・SDGsを子どもにわかりやすいような表現にすることも必要。 ・外部講師を招聘することも刺激となるのではないかと。
保育におけるリーダーシップ 教員も アクティブラーニング	B	子どもの良さに着目して意見を出し合ったり、昨年度から引き続いている研修の取組・成果について、教員間で意識して取り組むことができた。一方、明確な「ねらい」を計画や振り返りの内容に落とし込むことや、学年を越えての話し合いが不足していた。	教員自身が、自分たちの学びを深めるためにどのような方法をとればよいか、具体的に実践し試したり、常に意識して保育をすることができた。その実践を記録し、次へ活かし、活動計画を再構成しながら保育を進めるサイクルができてきた。	A	・意見を出し合い、先生たち皆で共有することがとても重要。学年等、色々な立場を超えて話し合えることにより、「ねらい」がより明確になるのではないかと。 ・保護者アンケートから「先生たちのチームワークがよい」とあり、組織的、意欲的に研修に取り組んでいると思う。 ・「子どもたちの幸せのために」全員が愛情を持って接している姿が素晴らしい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	今年度は、前年度中途に終わっていた評価指標を具体的に定め、総括評価に活かすことができた。教員自身が常に今年度の重点目標を意識して活動していたため、子どもたちの姿にも徐々に成果として表れ始め、互いに刺激を受け合ったり、学びにつながる姿が見えてきた。次年度は、もう一歩発展するための具体的な取組・実践になるよう広げていきたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後の課題と具体的な取り組み方法

課題	具体的な取り組み方法
新たな教材研究への取組	1) 具体的な教材研究の実践と実践結果の検証。 2) コロナ禍における子どもの発達に注目し、身体の様々な部位を意識した運動遊びの充実と内容の見直し。